

馬産地ライター村本浩平の 2019 スタリオンシリーズ競走種牡馬名鑑

Vol. 3 | 8.6[火] ▶ 9.26[木] 開催分



8.14
[水]

ビッグアーサー賞
【エトワール賞[H3]】

ビッグアーサーは現在8歳。2011年3月18日に浦河町のバンブー牧場で誕生しています。父はサクラバクシンオーで、母はシャボナ（母の父Kingmambo）。現役時は芝の1,200mを中心に15戦8勝。その中には重賞初勝利をGI初制覇という形で飾った2016年の高松宮記念、同じ年のセントウルSも含まれています。2017年のスプリンターズSを最後に現役を引退し、現在は静内町のアロースタッドで繋養されています。種牡馬としては、競走成績からも証明された卓越したスピード能力もさることながら、テスコボーイから脈々と受け継がれてきた、日本競馬との和合性の高さ。その上、血統に現在の主流血脈であるサンデーサイレンスを有していないこともあり、昨年は164頭もの繁殖牝馬を集める人気種牡馬となっています。

8.15
[木]

アメリカンペイトリオット賞
【フルールカップ[H3]】

アメリカンペイトリオットは現在6歳。2013年3月8日産まれのアメリカ産馬となります。父はWar Frontで、母はLife Well Lived（母の父はTiznow）。ダート競馬が主流となっているアメリカ競馬ですが、アメリカンペイトリオットの活躍の場となったのが芝での競馬。2016年のケントSで重賞初制覇をレコード勝利で飾ると、2017年にはメイカース46マイルSでGIレースを初制覇。3歳、4歳と重賞戦線を中心に出走し、生涯成績は14戦5勝となっています。2017年のGIシャドウウェルターフマイルSを最後に引退し、現在は日高町のダーレー・ジャパン・スタリオン・コンプレックスで繋養されています。世界的な名種牡馬War Frontの後継種牡馬としては日本初供用でもあり、昨年は154頭の繁殖牝馬を集めました。

8.29
[木]

ラブリーデイ賞
【リリーカップ[H3]】

ラブリーデイは現在9歳。2010年1月30日に安平町のノーザンファームで誕生しています。父はキングカメハメハで、母はポップコーンジャズ（母の父はダンスインザダーク）。生涯成績は33戦9勝ながら、その勝ち鞍にも証明されているように、「5歳からの上がり馬」と呼ぶに相応しい成績を残したラブリーデイ。2015年の中山金杯をレースレコードで制して重賞初制覇を飾ると、続く京都記念、鳴尾記念の重賞勝ちの勢いそのままに宝塚記念でGI初制覇を果たします。その後も、京都大賞典を優勝、天皇賞・秋でGI2勝目をあげて、この年のJRA賞最優秀4歳以上牡馬にも選出されました。現在は日高町のブリーダーズ・スタリオン・ステーションで繋養。繋養初年度の2017年の配合頭数は138頭、2018年は122頭と安定した人気を誇っています。

9.12
[木]

クリエイターⅡ賞
【旭岳賞[H2]】

クリエイターⅡは現在6歳。2013年3月30日産まれのアメリカ産馬となります。父はTapit、母はMorena（母の父Privately Held）。「Ⅱ」表記が付いているのは、過去に「クリエイター」という名の種牡馬がいたからです。しかしながら、クリエイター「Ⅱ」もまた、種牡馬としてその名を残していくに相応しい競走成績を残しています。3歳時のアーカンソーダービーでGI初制覇をあげると、米三冠レースの最後の一冠となるベルモントSも優勝。生涯成績は12戦3勝ながらも、うちGIは2勝という能力の高さを証明しました。引退後の2017年に日本に導入され、現在は新ひだか町の日本軽種馬協会静内種馬場で繋養。アメリカのトップサイアーTapitの後継種牡馬という血統背景もあって、産地の期待は高まっています。

9.19
[木]

タリスマニック賞
【フローラルカップ[H3]】

新種牡馬

タリスマニックは現在6歳。2013年2月28日産まれのイギリス産馬となります。父はアメリカの人気種牡馬Medaglia d'Oro、母はMagic Mission（母の父はMachiavellian）。フランスでデビューを果たしたタリスマニックは、3歳時に仏クラシック戦線、そして凱旋門賞にも出走する活躍を見せます。本格化したのは4歳を迎えてから。モーリスドニューイ賞で重賞初制覇を果たすと、ブリーダーズカップ・ターフで待望のGI初制覇。次の年にもゴントービロン賞を制して重賞3勝目をあげるなど、生涯成績は23戦8勝となります。現在は日高町のダーレー・ジャパン・スタリオン・コンプレックスで繋養。顔の大きな流星、ハイソックスを履いているような4本の脚と、見た目のインパクトに溢れており、海外ではファンクラブも設立されたほどです。

9.25
[水]

シャンハイボビー賞
【イノセントカップ[H3]】

新種牡馬

シャンハイボビーは現在9歳。2010年2月27日産まれのアメリカ産馬となります。父はHarlan's Holiday、母はSteelin'（母の父Orientate）。生涯成績は8戦6勝ながら、そのほとんどをシャンハイボビーは2歳時にあげています。デビューからまさに破竹の勢いで連勝を重ね、ホープフルS、シャンペンS、そしてブリーダーズカップ・ジュヴェナイルとGIレースを3連勝。2歳シーズンを5戦5勝で終え、この年のエクリプス賞最優秀2歳牡馬にも選出されました。現役引退後の2014年シーズンから、アメリカ、そしてシャトルサイアーとしてブラジルでも繋養。2019年シーズンからは新ひだか町・アロースタッドで繋養されています。先にデビューを果たした輸入馬はメイクデビューでも活躍と、父の産駒らしい仕上がりの早さを証明しています。

今シーズンは特別競走12レースも
「スタリオンシリーズ競走」として開催！

- 8/8[木] ベストウォーリア賞 新種牡馬
- 8/20[火] ヴィットリオドーロ賞
- 9/5[木] パドトロフ賞
- 9/18[水] エスケンデレヤ賞

「スタリオンシリーズ競走」は、一般社団法人JBC協会（ジャパンブリーダーズカップ協会）が産地の支援を得て、優勝馬の馬主や生産者に種牡馬の翌年度種付権利を副賞として贈呈する競走です。 ※生産牧場が海外の場合は付与対象外となります。

